

1. シラス台地とその利用

- (1) 「シラス台地」とは、どのようにできた土地か、資料Ⅰなどを参考に説明してみよう。

(例) 火山の噴出物が厚く積もった台地。

- (2) 資料Ⅰから、シラスが多く分布している地域はどこか、説明してみよう。

(例) 鹿児島県の大部分と宮崎県や熊本県の一部。

- (3) シラス台地で生産が盛んな農産物を①・②に挙げ、それらの生産が盛んになった理由を③に記入してみよう。

資料Ⅰ シラスの分布



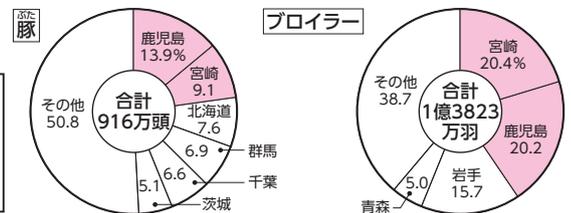
農産物	生産量の順位	理由
① さつまいも	1 鹿児島 2 茨城	やせた土地でも比較的育ちやすいから。
② 茶	1 静岡 2 鹿児島	③ (例) 温暖で水はけのよい場所での栽培に向いているから。

2. 畜産が盛んな九州南部

- (1) 資料Ⅱで、九州南部の県に赤で色を塗ろう。
 (2) 「黒豚」を飼育するための工夫を挙げてみよう。

(例) ・効率よく育てるだけでなく、おいしくて安全な肉の生産を目指す。
 ・「かごしま黒豚」のブランド化を図る。

資料Ⅱ 豚とブロイラーの飼育が盛んな県



3. 温暖な気候の下で行われる農業

- ①・②に主な農産物名、③～⑤に語句を記入し、筑紫平野、熊本平野、宮崎平野の農業の特色を表にまとめてみよう。

	おもな農産物	農業の特色
筑紫平野	米 小麦 いちご	稲作が終わった後の水田で小麦や大麦などを栽培する (③ 二毛作)
熊本平野	① (例) トマト	冬でも温暖な気候を生かし、野菜の出荷時期を早めて栽培する、(④ ビニールハウス) を利用した (⑤ 促成栽培) が盛ん。
宮崎平野	② (例) きゅうり	

本時のまとめ

◆ 九州南部と北部の代表的な農畜産物は、どのような地形や気候を生かしているのか説明しよう。

(例) 南部の鹿児島県や宮崎県では、シラスの水はけのよさを生かした、さつまいもや茶の栽培や畜産が盛んで、宮崎平野や熊本平野では、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである。北部の筑紫平野では米と麦の二毛作や、いちごのビニールハウス栽培が盛んである。